

シーズン前の暖房機チェック項目再確認!

加温機は「点検・手入れ」がた・い・せ・つ

ハウス加温機は使用方法や手入れの仕方により、その性能を十分に発揮させることにも、逆に燃料の無駄遣いや機械の寿命を縮めてしまうこともあります。



<型式: HK4027TCV>

A 重油 焚 ハウス加温機の使用にあたって大事なコト

ハウス加温機の燃料である A 重油は日本工業規格(JIS)により品質が規定されています。(全農では JIS より厳しい規格を設定し、品質管理を行っています。)

しかし、生産時期により品質に多少の差があり、夏場生産の A 重油を冬場に使用すると、フィルターの目詰まり等を引き起こす可能性があります。また、低油温での A 重油の粘性は高く、加温機において噴霧状態が悪化し、燃焼不良にもつながります。

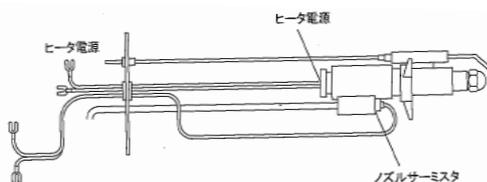
そのため **①適切な時期に適切な油をご使用ください**(長く置いた A 重油は使用しない)

あわせて **②ノズルヒータが正しく動いているか確認をお願いします**(燃焼状態の向上のため)

ノズルヒータの点検について



加温機は **ノズルヒータ ON** で稼働!



<表: ネポン社製加温機 各型式のノズルにおけるエラーコード>

加温機型式	エラーコード	状況
HK25・27・27V	E-19	断線、又は昇温不足
HK20・22	E03	ノズルサーミスタ部分の断線
	E04	ノズルサーミスタ部分の短絡状態
	E05	ノズルヒータの昇温不足

ノズルからの噴射前燃料の油温を瞬時に上げるノズルヒータは断線しやすく、故障しやすい箇所です。

ノズルヒータが働いていないと、燃料消費量の増加や不着火、黒煙の発生等につながります。

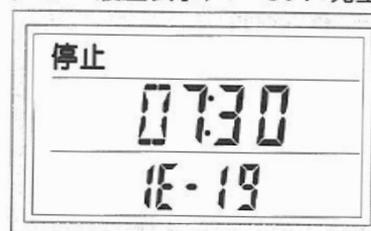
ノズルヒータが働いていない場合、上表のようなエラーコードが表示されます。定期的を確認し、故障の場合、修理対応をお願いします。

【要確認】表示点滅



<ノズルヒータ異常の表示>

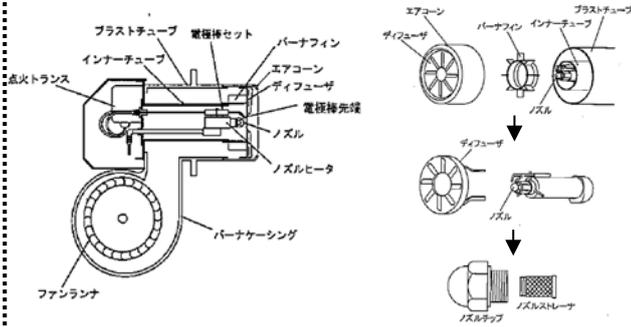
E-19 表示
(エラー履歴表示、7:30に発生)



<コントローラでの表示 (型式: HK27) >

重要な点検項目について

⚠️ ノズルは定期的に交換しましょう！



＜バーナ部分の構造＞

＜バーナ部分の分解順序＞

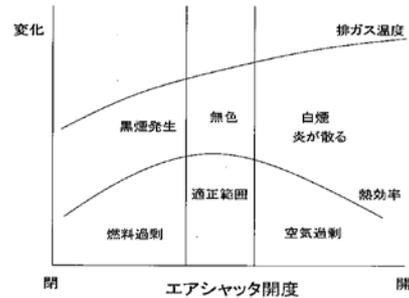
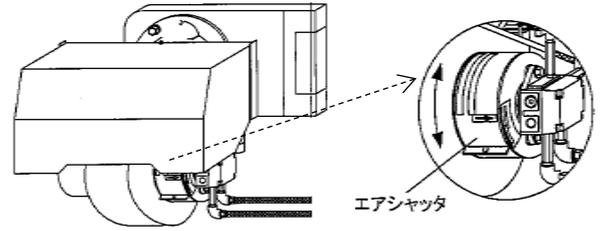
A 重油が噴射されることにより、ノズルが摩耗し口径が変形し、燃料の噴射状態が悪くなります。

不着火や不完全燃焼の原因となりますので、**ノズルは定期的な交換***をお勧めします。

※ノズル交換の目安(累積燃焼時間)

A 重油の場合: 約 1000 時間

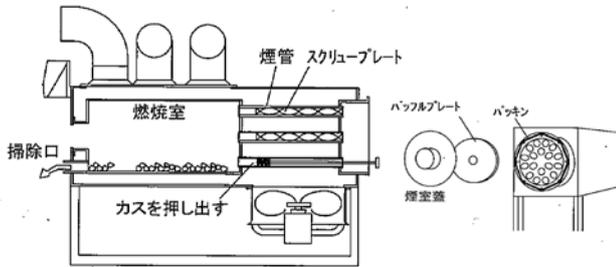
⚠️ エアシャッターを調整し、煙突から煙が見えなくなる状態にしましょう！



シャッターの開度は開き過ぎても、閉め過ぎても燃焼効率が悪くなり、ススを発生させます。

エアシャッターの開度は適切な位置を保ちましょう！

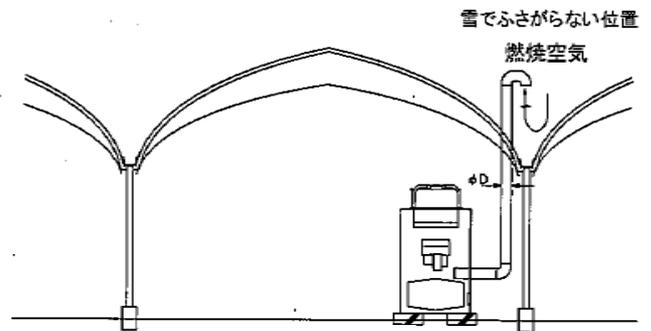
⚠️ シーズン終了後に清掃を！



清掃せずに燃焼カスを放置しておくと、缶体の腐食が早まり、寿命が短くなります。

使い終わったら清掃するよう心がけましょう！

⚠️ バーナで油を燃焼させるためには大量の燃焼空気を要し、給気口が必要です！



不完全燃焼によるススの発生、不着火等を引き起こさないためにも出来るだけ近いところに**新鮮な空気を取り入れられる工夫**をお願いします。

連絡先：

電話番号：

担当者：